

こくりにゅうだよ



大阪府立桜塚高等学校 3年 泉野 里緒
「夏は空がよく綺麗に撮れますね」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



おまつり地球一周クラブ ブラジルをしよう!

7月23日(土) 10:30~12:00

ブラジル出身の講師による母国の話と遊びで交流する。

対象: 小・中学生

定員: 10人(要申込・先着順)

参加費: 無料

申込: 7月19日(火)までに電話・
来館・メールで受付。



とよなかシネコン For Kids

『ハリー Potter と賢者の石』(吹替版)

8月14日(日) 14:00~15:30

【あらすじ】両親と死別して意地悪な親戚のもとに預けられた少年ハリー。11歳の誕生日に、自分が魔法使いの血を引いていることを知った彼は、魔法魔術学校へ入学することに…。

場所: 千里公民館(新千里東町)

定員: 50人(要申込・先着順)

参加費: 無料

申込: とよなか国際交流センターに8月12日(金)までに
電話・来館・メールで受付。

事務所の場所が変わりました！

とよなか国際交流センターは2021年11月から空調設備の改修工事をしています、今年5月下旬から工期の後半に入りました。工事エリアが変わることに伴い、5月18日から事務所を会議室2 ABCに移して業務を行っています。事務所前のスペースは多言語相談サービスやにほんご交流活動、子どもの居場所・学習支援サンプレイスなど協会事業で使っていないときは、市民交流の場としても自由にお使いいただけます。



新しい事務所スペースには窓があり、
少し広く、明るくなりました。

エスカレーターが使えない、50人以上入れる部屋がない、トイレは5階以下に行かないといけない…など、みなさんには引き続き、ご迷惑をおかけしますが、あと半年、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします（11月中下旬には事務所も元の場所に戻ります）。（事務局長・山野上隆史）

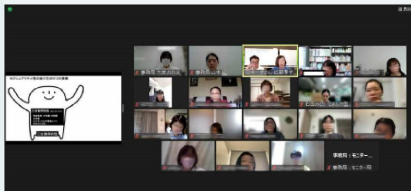
5月10日(火)、17日(火)、24日(火) 多文化子育て支援ボランティア養成講座を開催しました

今年度も「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にこにこ」に関わるボランティア希望者に向けて実施しました。「おやこでにほんご」は子育て中の女性、「多文化子ども保育にこにこ」は保育士資格などをもつ方を対象に募集しました。新型コロナウイルス感染症対策と、とよなか国際交流センター空調設備の改修工事のため、今年度もオンライン開催となりました。以下、講座の各回の内容をご紹介します。

<第1回>

第1回目は、活動運営主体である（公財）とよなか国際交流協会の概要と「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にこにこ」の成り立ちについてご紹介しました。また、「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にこにこ」の現役ボランティアの方から、実際の活動についてお話いただくとともに、受講者との交流会を行いました。写真やエピソードを交えての現役ボランティアからのお話に、活動に対するイメージも深まっていったようです。

<第2回>



第2回講師
田中一步さん、近藤孝子さん

「『性の多様性から「じぶん」について考える』～誰もが排除されない社会をめざして 子どもたちとの出会いからみえてきたこと～」と題して、田中一步さん・近藤孝子さん（にじいろi-Ru）よりお話を伺いました。お二人の出会いのお話から始まり、生物学的性だけでなく多様な性のあり方の要素（性自認、性表現、性的指向）について、色々な人との出会い・エピソードを交えてお話いただきました。また、性の多様性について子どもたちと考える出前講座をされた感想から、「どんな人もそのままがいいよ」というメッセージが、性だけでなく様々なしんどさを抱えた（社会によってしんどさを抱えざるを得ない状況にある）子どもに届いていることをご紹介されました。最後の「大人同士が大切にしたいことを大切にしていよいよ、と言える関係ができていますか？」という投げかけからは、私たちが活動や日々の生活を通じてどのような社会をつくっていくのか／いきたいのか、を考えさせられました。

<第3回>

「外国人の母親に対する子育て支援～地域の現状と豊中の取組みからみえること～」として、山中早苗さん（頌栄短期大学）からお話を伺いました。「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にこにこ」に参加した外国人ママへのインタビュー調査から、活動に参加する外国人のおかれた背景や日本社会における困難、活動の意味などについてお話がありました。「友だちをつくる機会になったと共に、グループの人はすべての面で助けになってくれている」「このプログラムに参加するようになって、他の子どもとも一緒に遊べるようになった」など、二つの活動が外国人親子にとって安心できる居場所であると同時に、社会とのつながりの場になっていることがわかるお話でした。

講座終了後、15人がボランティアとして、6月から徐々に活動に参加されています。新ボランティアの皆さんの活躍を期待しています。（協会職員・山本房代）

2022年度 ボランティア募集！

**多文化子育て支援
ボランティア養成講座**

2022.5.10～5.24 毎週火曜日（全3回）10:00～12:00
※本講座はオンライン（ZOOM）で実施します。

この活動のボランティアを募集しています

講座の開催チラシ

外国人母親に対する子育て支援

- ・子どもと一緒に参加できる安心感
- ・子育ての悩みや、日本の生活をお伝えしあえる心付け
- ・言葉の壁がある方でも理解しやすいサポート
- ・活動の継続を促すフォローアップ
- ・活動中に困難を乗り越える機会

**第3回講師
山中早苗さん**

2018年2月号に最終回を迎えた連載「なんじゃ・カンジャ・言わせてもらえば」の執筆者、皇甫康子さんのコラムです。

皇甫さんの想いとメッセージがイモチョモ（あれこれ）詰まったコラムをどうぞ。

1999年夏、アウシュビッツ絶滅収容所を訪問した時、ここはユダヤ人が大量虐殺されたことを後世に知らせ、亡くなった人たちの記録と記憶を残すための巨大な墓場なのだと思った。2015年夏にはベルリンで、ナチス時代の写真やポスターなどの「テロのポトグラフィー」を見たり、収容所で亡くなったユダヤ人の名前が記された「蹟きの石」を見つかったりして、歩き回った。街全体が加害の歴史に向き合い、事実を記す展示の場になっていた。大阪の朝鮮人密集地に歴史資料館や記念館、「ここに済州島の海女だった〇〇さんが住んでいた」という碑や「蹟きの石」がつくれないものかと、ずっと考えているがなかなか実現しない。最近、「在日」の詩人、金時鐘さんの詩がコリアタウンで石碑になったらしいが。

在日朝鮮人がいなくなり、住んでいた場所の記憶もなくなってしまうという危機感を持っていたが、4月30日、「ウトロ平和祈念館」が開館した。戦争中、京都府宇治市伊勢田町51番地、通称「ウトロ」と呼ばれるこの地域に1941年、京都軍事飛行場建設のために1300人余りの朝鮮人を日本政府が動員し、形成された朝鮮人集落である。日本の敗戦で工事は中断され、補償もなく朝鮮戦争により帰国することも困難だった。水道がないなどの劣悪な環境にあっても、住民たちは力を合わせて学校を建設し、民族教育を行った。そして、1987年、理不尽な立ち退き問題が発生する。2000年、裁判で敗訴し強制退去の脅威に苦しめられたが、居住権に関する人道問題として世論を喚起し、韓国社会からたくさんの賛同や協力を得、土地を買い取ることができた。立ち上がる当事者を支え、運動を牽引してきた日本人の仲間たち。日本人の立場で、できることは何でもしてきたというすごい人たちが。

祈念館に到着すると、期せずして「在日」の後輩たちが出迎えてくれた。祈念館設立の実行委員メンバーになって、長年活動しているということだった。頼もしい。館内には、住民たちの「家族写真」が展示され80年以上のウトロの歴史を物語る。ご飯を炊いていた手作りのかまどがあり、西部劇に出てくるようなバラック小屋の住居の写真もある。一番興味を引いたのは、自分たちで作った民族学校の展示だった。苦難の中にあっても子どもたちのことを中心に考えた先輩たちが、誇らしい。

祈念館の外を歩くと、2021年8月30日に放火された住宅跡がある。「韓国が嫌いだった。在日に恐怖を与える狙いがあった」と犯行の動機を語る22歳の青年。「在日」の記録と記憶を残し、「ヘイトクライム」に対抗するための拠点として、祈念館の役割は大きい。たくさんの人たちが見学することで、祈念館を守り、発展させていける。是非、訪問してほしい。

【告知】今年度もとよなかシネコンFor Kidsを開催します！

今年度も豊中市内の公共施設(5施設)とコラボして、子ども向けの映画上映企画『とよなかシネコンFor Kids』を開催します。今回も夏休み期間に合わせて、「子どもが楽しめる映画」をテーマに上映作品を選んでいきます。それぞれの施設が選ぶイチオシ映画から社会課題について知ること、そして映画鑑賞をきっかけに、より多くの方に豊中市内の公共施設の存在・取組みを知っていただければと思います。

上映作品と申込先については下の上映スケジュールをご覧ください。子どもだけの参加も、親子での参加も大歓迎！

各館で新型コロナウイルスの感染防止対策も行い、安全に鑑賞できる環境を整えてお待ちしております。(協会職員・三木幸美)

上映日時	上映作品	上映会場	定員	申込TEL
7/23 (土) 10:00～	「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年」 & 日本語吹替版メイキング映像	環境交流センター	40人	06-6844-8611
7/26 (火) 13:00～、14:30～	「カミナリ先生」 & エコ工作でSDG s 体験	市民活動情報サロン	各回6人	06-6152-2212
8/3 (水) 14:00～	「怪盗グルーのミニオン大脱走」「100ぼんめのサル」	人権まちづくりセンター豊中	20人	06-6841-5300
8/10 (水) 14:00～	「おこんじょうるり」「注文の多い料理店」	中央公民館	30人	06-6856-0555
8/14 (日) 14:00～	「ハリーポッターと賢者の石」	千里公民館	50人	06-6843-4343※
8/19 (金) 10:00～	「トロールズミュージック★パワー」	人権まちづくりセンター蛍池	50人	06-6841-2315

※申込先はとよなか国際交流センター。申込先と会場が異なります。

2022 7月の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27	28	29	30	01 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	02 相談	03 がちや 南部
04 もっ と 相談	05 おやこ 相談 こんぱす	06 休館日	07 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	08 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 外国人のための浴衣体験 13:30~16:00	09 相談	10 がちや 母語 サンプル 若者 南部
11 もっ と 相談	12 おやこ 相談 こんぱす	13 休館日	14 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	15 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	16 相談	17 がちや サンプル 若者
18 海の日	19 おやこ 相談 こんぱす	20 休館日	21 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	22 金あさ にこにこ 相談	23 相談 おまつり地球一周クラブ 10:30~12:00	24 がちや 母語 サンプル 若者
25 もっ と 相談	26 おやこ 相談	27 休館日	28 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	29 金あさ にこにこ 相談	30 相談	31 がちや サンプル 若者 南部

※2021年11月~2022年11月末は空調設備改修工事のため貸室がご利用いただけません。それに伴い、すべての貸室利用を中止いたします。

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…	もっ ともっ とつかえるにほんご ※ひらがな・カタカナが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談	9:30~11:30 11:00~16:00
日曜日…	にちようがちやがちだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプレイス 若者のたまりば 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 17:00~20:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

7/23(土) 10:30~12:00

おまつり地球一周クラブ「ブラジルをしよう！」

小中学生のための国際理解プログラム「おまつり地球一周クラブ」、7月のテーマはブラジルです。みなさん、ブラジルときいて何を思い出しますか？サッカー、サンバ、アマゾン…？有名な場所や食べ物、イベントだけではなく、日本とのつながりや似ているところ等をクイズやゲームをしながら楽しく学びませんか？

ブラジル出身の講師ふたりと一緒に過ごして夏休みの思い出を作りましょう！

※概要は表紙下部のイベント情報をご覧ください。



とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゅうだより」第159号(2022年7月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail: atoms@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!
「とよなか国際交流センター」で検索!

